

西南学院大学神学部 2025年度神学コース在学学生

番号	氏名	ふりがな	学 年	推薦教会
1	長尾 基詩	ながお きし	博士前期1年生	府中キリスト教会
2	石原 誠	いしはら まこと	選科3年生	常盤台バプテスト教会
3	大野 学	おおの まなぶ	選科2年生	釧路キリスト教会
4	渡辺 鷹優	わたなべ たかひろ	学部1年生	大阪中央バプテスト教会
5	横濱 峰二子	よこはま ふじこ	リカレント生	札幌バプテスト教会
6	今井 牧夫	いまい まきお	リカレント生	(日本キリスト教団京北教会)
7	伊藤 健一	いとう けんいち	学部4年生	(日本キリスト教会福岡城南教会)

東京バプテスト神学校 2025年度専攻科生一覧

番号	氏名	ふりがな	学科	所属教会
1	鬼澤 寛	きざわ ひろし	専攻科	篠崎キリスト教会
2	氷川 英俊	ひかわ ひでとし	専攻科	百合丘キリスト教会
3	堀端 洋一	ほりばた よういち	専攻科	千里ニュータウン教会
4	宮下 めぐみ	みやした めぐみ	専攻科	厚木緑ヶ丘キリスト教会

九州バプテスト神学校 2025年度 専攻科生一覧

番号	氏名	ふりがな	科	所属教会
1	海蔵 和香 ※	かいぞう わか	専攻科2年	都城キリスト教会
2	田中 敦子	たなか あつこ	専攻科2年	福岡西部バプテスト教会
3	村田 一太	むらた かずた	専攻科1年	福岡ベタニヤ村教会
4	天野 正道	あまの まさみち	専攻科1年	天草中央キリスト教会
5	森 裕貴	もり ひろたか	専攻科1年	門司バプテスト教会
6	大森 俊明	おおもり としあき	専攻科1年	熊本南キリスト教会
7	張 志英	ちょう しえい	専攻科1年	関西黎明キリスト教会
8	増田 佑	ますだ たすく	専攻科1年	(単立 日吉台キリスト教会)

※は休学中

神学校献金と奨学金について

【神学校献金】神学校献金は、西南学院大学神学部(以下、西南神学部と略す)で学ぶ神学生(大学院生も含む)の校納金ならびに生活費の一部を支えるための奨学金として用いられています。また、2013年度より東京バプテスト神学校(以下東バプと略す)の専攻科、九州バプテスト神学校(九バプと略す)の専攻科の学生にも、校納金の8割に相当する奨学金として用いられています。また、2025年度からは、神学校献金の用途が拡大され、東バプ、九バプの運営費支援のためにも用いられることになりました。

【献金のお願い】毎年6月第4主日から始まる神学校週間では、神学生や神学校、講師陣などのことを覚えて、祈りや献金によって支えていただけましたら幸いです。全国壮年会連合は本活動を積極的に推進しておりますので、是非ともよろしくお願い申し上げます。

【奨学金の内容】西南神学部神学生には、校納金の費用(入学金は含まず)として、1種奨学金を貸与(条件を満たせば、最大限で8割は返還免除)、2種奨学金(生活費及び学習支援)を給付(返還不要)しております。また、2013年度より東バプと九バプの専攻科の神学生には、それぞれの神学校を経由して校納金の8割が奨学金として支給(各神学校の奨学金規定による返還の要否あり)されます。

【奨学金の返還】西南神学部神学生の1種奨学金の返還は卒業後15年以内に返還いただくことになっています。卒業後7年経過時点において専ら伝道の業に従事する期間が4年以上の場合8割免除、3年以上の場合5割免除、2年以上の場合3割免除となります。詳細は全国壮年会連合のホームページで規程を御確認下さい。



神学校週間によせて

2025.6.22(日)～29(日)



■創造のリズムの中で「私(たち)の献身」を覚える1週間

ひはらひろし

日原広志 西南学院大学神学部部長



いつも神学部と神学生を覚えてくださり感謝します。神学生は個性豊かな個人であるだけでなく、背後にキリストのからだなる教会をそれぞれに持つ共同的存在でもあります。「誰かの献身」が「私(たち)の献身」でもあるのです。献身の主体は教会です。献身者個人ではありません。個人としてではなく、キリストのからだなる教会の肢体としての献身です。教会の外に、教会と無関係に生起する召命はあり得ません。たとえ献身志願者個人が召命体験において神と我との1対1の関係を強烈に刻印させられたとしても、その基層には教会の長い祈りの歴史が存在しています。その個人がすごいから献身するのではなく、私たちの献身が天に積まれ、たまたま1人の人間において生起するのです。ですから神学校週間は、神学校と神学生を覚えることで、献身の連鎖に参加している私たち1人ひとりを再発見し、再確認するときなのです。

神学校週間が「週間」として備えられていることも意義深いものです。それは天地創造を私たちに追体験させます。神のイエヒ・オール「光あれ！」(創世記1:3)(単数への呼びかけ)から、ナアセ・アダム「我々は確かに造ろう！人間を！」(同26)(熟慮と決意の複数形)への進展は、「個人の召命」から「教会の熟慮と決意の総会決議」への進展を連想させるでしょう。混迷の時代に神学生が産み出されることで、教会が教会になっていく、「創造」を想起する1週間となりますように。



「旧約学特論Ⅰ」
修士一年による釈義発表風景

■待ちつつ急ぎつつ

もり ひろたか

森 裕貴 九州バプテスト神学校 専攻科1年 門司バプテスト教会推薦

いつも神学校の働きと神学生の学びをおぼえ、祈り、献げ、支えてくださる皆さまには心より感謝申し上げます。私自身もいろんな教会で説教の機会を与えてくださり、つたない説教に真剣に耳を傾けていただき、さらには学びへの励ましのお手紙を頂戴しましたことが何より励みになっています。

3年間の本科の学びを終え、4月からいよいよ2年間の専攻科での学びに入ります。これまでを振り返ってみると、50歳を超えるおじさんには神学校の授業はちょっと無理かなと思いつつも入学しました。しかし入ってみると老若男女さまざまな方々が仕事のかたわら学びに来られており、逆に勇気づけられました。最初はよくわからなかった授業も、日常生活のふとした瞬間や日曜日の礼拝での説教を聞いて「そういうことだったのか！」と思わされることが度々ありました。働きながら学びを続けていくと、どうしても未視聴の授業や提出しないといけない課題が溜まってしまいます。何度も「もう無理！」と思いましたが、先生方の熱いご指導と主がいつもそばにいて導いてくださったおかげで何とか無事に続けることが出来ました。

私自身は少々早いですが主の招きに従って、学びを続けながら教会主事としての活動も始めました。しかし、まだまだ力不足で、これからの専攻科での学びの課題としたいと考えています。将来、牧師として、さらに主の御用が出来るよう待ちつつ、与えてくださった専攻科での2年間の学びを急ぎつつ、これからも主のみ旨につき従って歩む所存です。



「新約聖書概論」のクラス